情報提供資料

当資料は、資産形成のための情報メディア「みんかぶ」に掲載されました「世界のベスト」に関するコラム記事を抜粋しご紹介したものです。

コラム　配信元 : MINKABU PRESS　著者 : みんかぶ PR　更新: 2025/3/7 10:00　投稿: 2025/01/14 18:00

新NISAがスタートして約1年が経過しました。そこであらためて資産形成にはどのようなファンドが適しているのか考えてみたいと思います。

「インベスコ 世界厳選株式オープン（愛称：世界のベスト）」に注目

今回、注目したのは「インベスコ 世界厳選株式オープン（愛称：世界のベスト）」です。「世界のベスト」の純資産総額（6ファンド合計）は、グローバル株アクティブ・ファンドの中で、No.1＊となっています。（2024年12月末現在）

いわば人気のファンドですが、注目した理由は純資産総額の多さだけではありません。

純資産総額の多さは、人気のバロメーターとしてしばしば紹介されますが、ファンドによっては、当初募集期間と設定後一定期間に大幅に純資産総額が増加（人気化）したあとは、じわじわ純資産総額が減少（人気離散）してしまうファンドも多くあります。

＊2024年12月末現在 QUICK資産運用研究所調べ。国内公募の追加型株式投資信託（ETF、ラップ・SMA専用、DC専用を除く）を対象にQUICK資産運用研究所による分類（地域：海外および内外、分類：グローバル株式および先進国株式（グローバル）のアクティブ型）におけるファンド純資産総額の順位。決算回数や為替ヘッジの有無など複数のタイプが存在するファンドを合算して比較したもの。

25年超の長期の運用実績

今回、「世界のベスト」に注目したのは、その運用期間の長さです。

資産形成は長期に及ぶものです。そのため、短期的な動向に左右されず長期の目線でファンドを選ぶことが不可欠となります。その条件のひとつとして重要なことは、長期保有に耐えうるファンドか否か、ではないでしょうか。

運用期間が長いということは、その間に繰り返し投資環境が変化することが想定されます。長い運用実績があり、その運用期間中に純資産総額を伸ばしてきたファンドであるということは、投資環境が変化する中でもその投資哲学や運用プロセスが有効であり続けた証といえます。

意外と少ない長寿ファンド

「世界のベスト」は25年超の長い運用実績のあるファンドですが、2024年10月末現在、運用中のグローバル株アクティブ・ファンドは、655ファンドであり、そのうち、1999年末以前に設定されたファンドは、13ファンドしかありません。

25年前、1999年末現在で運用中だったファンドは78ファンドありましたがそのうち、多くが既に償還してしまったのです。

運用期間が長いファンドは、意外と少ないのです。

注）ファンド数はMINKABU投信を共同運営するNTTデータ・エービック調べ

「世界のベスト」の投資哲学と運用プロセス―“株式投資の王道”とは

「インベスコ 世界厳選株式オープン（愛称：世界のベスト）」は、現在、純資産総額トップのグローバル株アクティブ・ファンドである一方で、非常に長い運用実績があるファンドであり、長期の資産形成目的の投資に適したファンドなのでは、と考えました。
本日は、その考えが正しいかどうかを確認するため、お時間を頂きました。まず、最初に投資哲学を教えてください。

世界のベストは**「成長」**、**「配当」**、**「割安」**に注目して、世界の株式の中から、銘柄を厳選して投資しています。**この3つの観点に着目して投資を行うことを「株式投資の王道」と位置づけています。**

1. **「成長」**は、景気動向に左右されずに成長が期待できる企業
2. **「配当」**は、質の高い配当を行うことが期待できる企業
3. **「割安」**は、株価水準が割安であると判断する企業

ということになります。

「株式投資の王道」と位置付けるだけあって、今までも、そして今後も変わらず、有効な運用スタンスと言えそうですね。続いて、運用プロセスを教えてください。

約20,000社の投資ユニバースから、運用チームが投資アイデアをベースに投資候補銘柄を選定します。

その上で、候補銘柄のファンダメンタルズ分析を経て、約40～50銘柄でポートフォリオを構築するといったプロセスになります。

参考：インベスコ・アセット・マネジメント
※1 出所：WORLD FEDERATION OF EXCHANGES 、LSE Group London Stock Exchange。2024年5月末現在（LSE Group London Stock Exchangeは2024年6月末現在）。先進国の企業数は以下の証券取引所の上場企業数を合算することにより21,068社と算出。当数字は、以下の各証券取引所の上場企業数を合計したものであり、重複上場を考慮していません。
北米: NYSE、Nasdaq、TMX Group。アジア太平洋: ASX Australian Securities Exchange、Hong Kong Exchanges and Clearing、Japan Exchange Group、Singapore Exchange。欧州: Euronext、BME Spanish Exchanges、Deutsche Boerse AG、LSE Group London Stock Exchange。
※2 ポートフォリオの銘柄数は運用状況に応じて変わります。
上図の運用プロセスは、2024年6月末現在のものであり、今後変更となる場合があります。
上図は運用チームによる企業分析・評価における着目点の例を示したものであり、すべてを網羅したものではありません。

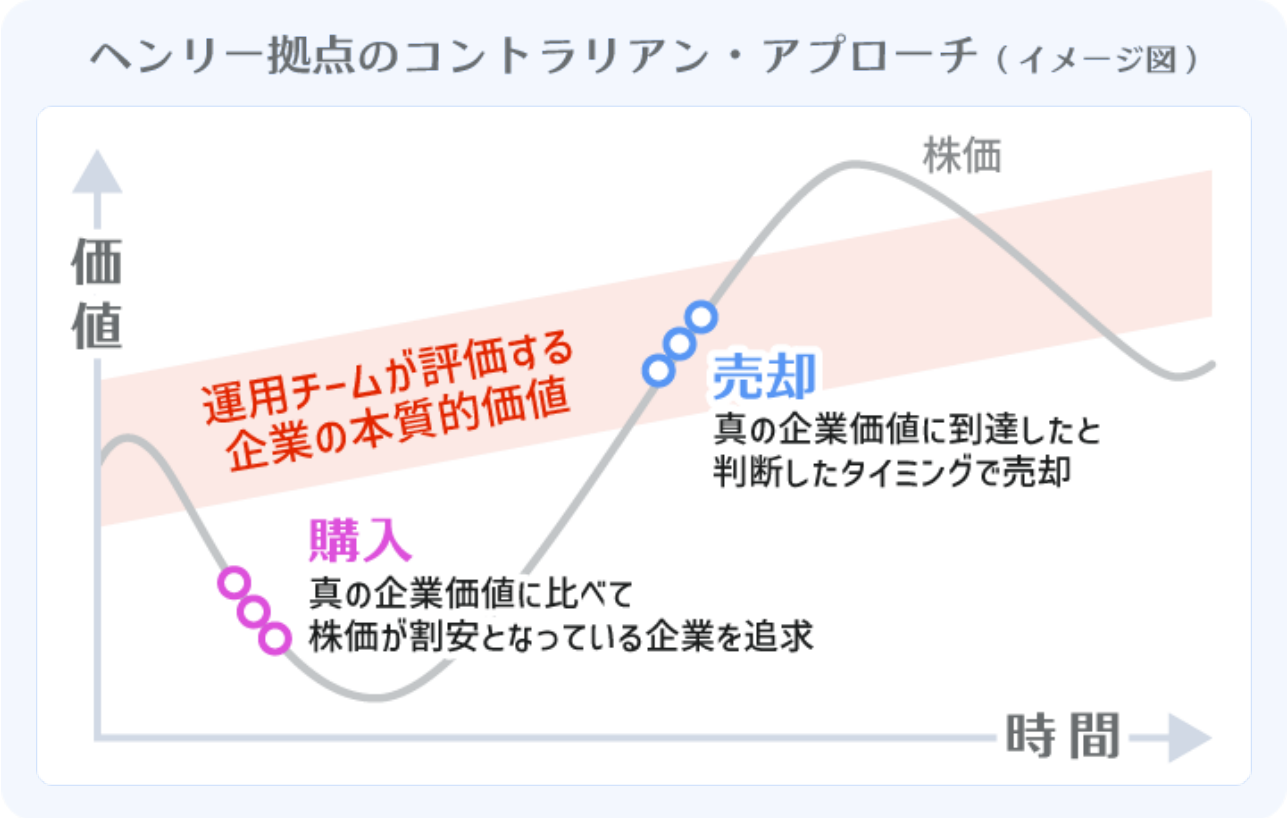
運用プロセスのファンダメンタルズ分析において、「成長」、「配当」、「割安」について、特定のセクターなど、類似のグループの中の主要な競合他社と総合的に比較をして、投資銘柄を選んでいます。

例えば「配当」では、単に配当利回りの比較ではなく、質の高い配当かどうか、十分な配当余力があり、今後、継続的な配当や、増配を見込めるかといったところを重視しています。

「割安」では、本質的価値に比べ株価水準が割安かどうかを見極めて投資をしています。その結果、ポートフォリオ全体のPERは過去、安定的に推移しています。

ポートフォリオが割高にならないように割安な水準で投資しているとのことですが、もう少し詳しく教えてください。

成長力がある良い銘柄をウォッチはしていても、実際にその銘柄を買うタイミングは慎重に選んでいます。
根底にあるのは、コントラリアン（逆張り）・アプローチという考え方です。



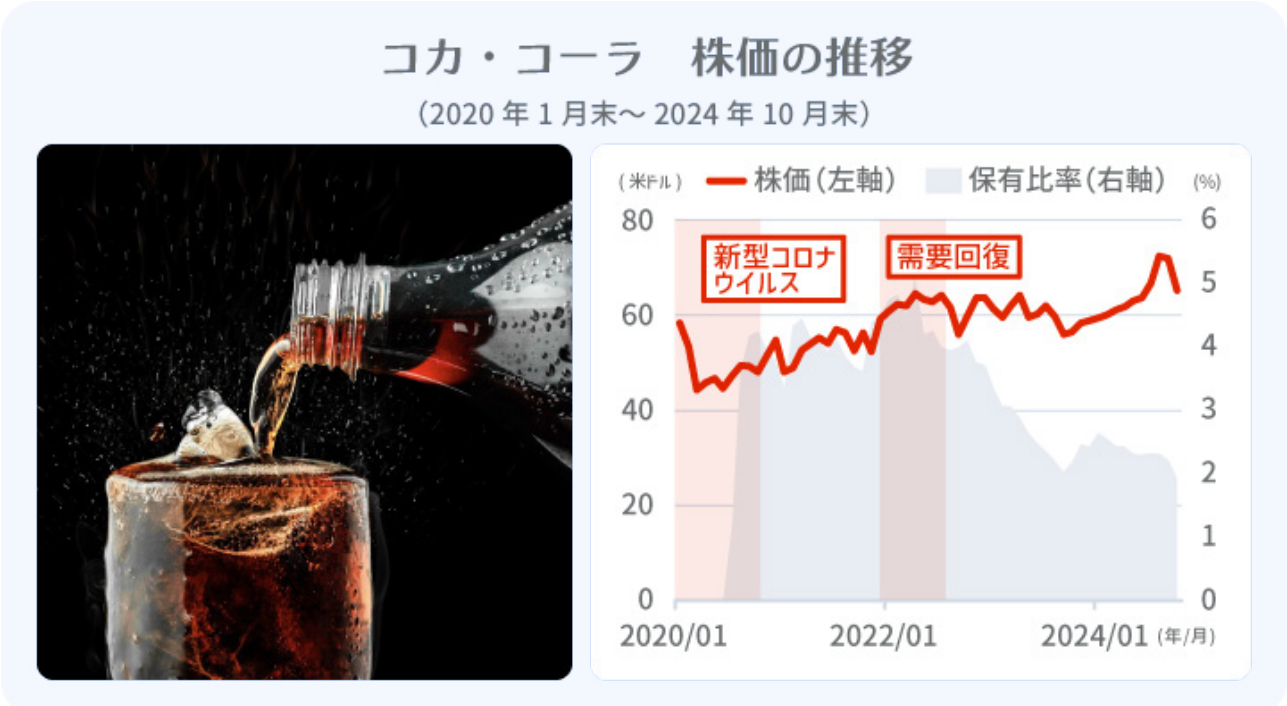
出所：インベスコ 上図はイメージです。より魅力的な投資機会が見つかった場合やポートフォリオ全体のリスク水準を調整する際などには、真の企業価値に到達しない水準で売却を行うことがあります。

運用チームが、常に本質的な企業価値を分析していて、**実際の株価がそれより下がった時に購入して、株価が真の企業価値に達したと判断すれば売却し、別の割安銘柄を探す・・・**これを続けていくことが基本となります。

具体的な例があれば教えてください

割安なタイミングを上手く捉えた例として、皆様もよくご存じの**コカ・コーラ**のケースをご紹介します。

銘柄事例①　コカ・コーラ



出所：インベスコ、ブルームバーグ、企業公開情報　上記銘柄への投資を推奨・勧誘するものではなく、当ファンドにおける将来の組入または売却を示唆・保証するものではありません。上記は過去のデータであり、将来の成果を保証するものではありません。写真はイメージです。

もともと、**コカ・コーラは優良銘柄として評価**していましたが、**過去、株価が割高だと判断**し投資をしていませんでした。コカ・コーラに投資を始めたのは2020年7月です。この時期は、コロナ禍により世界中で続々とロックダウン、行動制限等が行われていました。コカ・コーラの売上は半分以上が屋外、つまりレストラン、カフェ、スタジアム等です。そのため行動制限により業績悪化が懸念され、株価は急落しました。運用チームでは、コカ・コーラは強固なファン地盤があり、イベント等が無くなっても家で飲むだろうとの見通しのもと、**株価の下落により割安になったと判断**し、投資を始めました。

上記は2024年11月末時点における運用チームの見解を示したものであり、将来予告なく変更されることがあります。上記銘柄への投資を推奨・勧誘するものではなく、当ファンドにおける将来の組入または売却を示唆・保証するものではありません。

まさに、個人投資家では実践したくても難しい「逆張り」投資ですね。 個別銘柄について教えていただいたので、続いて組入上位銘柄についてお伺いします。組入上位10銘柄を見る限りでは、正直申し上げて、あまり見慣れない銘柄が多いのですが・・・

組入れ上位 10 銘柄

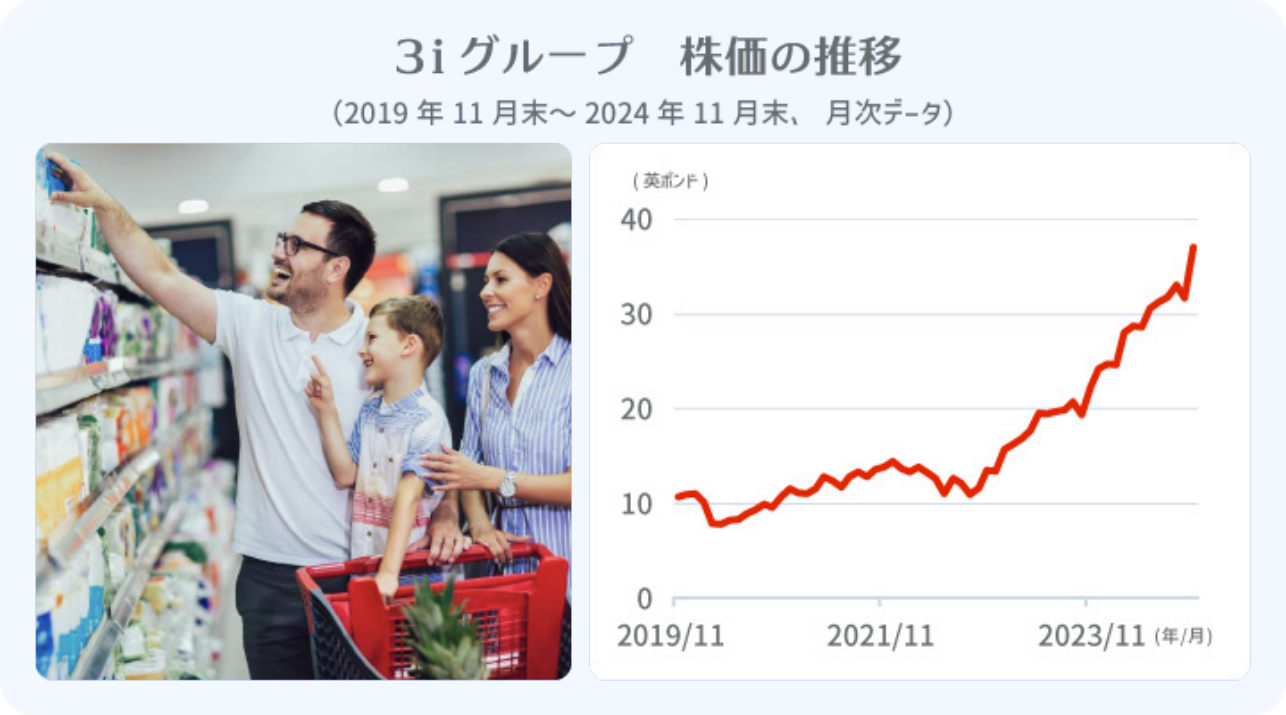
（2024 年 12 月末現在）

	銘柄／業種	国名	純資産比
1	3iグループ 金融	イギリス	5.0%
2	マイクロソフト 情報技術	アメリカ	4.5%
3	ロールス・ロイス・ホールディングス 資本財・サービス	イギリス	4.3%
4	テキサス・インスツルメンツ 情報技術	アメリカ	3.9%
5	ユナイテッドヘルス・グループ ヘルスケア	アメリカ	3.8%
6	コカ・コーラ・ユーロパシフィック・パートナーズ 生活必需品	オランダ	3.8%
7	ブロードコム 情報技術	アメリカ	3.6%
8	ロンドン証券取引所グループ 金融	イギリス	3.5%
9	ユニオン・パシフィック 資本財・サービス	アメリカ	3.2%
10	スタンダードチャータード 金融	イギリス	3.0%

出所：インベスコ
※国名は、発行体の国籍（所在国）などで区分しています。
※業種はベンチマークで採用している分類に準じています。
上記銘柄への投資を推奨・勧誘するものではなく、当ファンドにおける将来の組入または売却を示唆・保証するものではありません。

投資家の皆様があまり見慣れないという点では、組入トップの **3iグループ**がその代表でしょう。

銘柄事例②　３iグループ



出所：インベスコ、ブルームバーグ、企業公開情報　下記は2024年11月末時点における運用チームの見解を示したものであり、将来予告なく変更されることがあります。当該銘柄への投資を勧誘・推奨するものではなく、将来の組入または売却を示唆・保証するものではありません。上記は過去のデータであり、将来の成果を保証するものではありません。写真はイメージです。

３iグループは、金融セクターに分類される投資会社であり、生活必需品セクターの非上場企業を中心に保有しています。

運用チームでは、３iグループが保有するオランダの雑貨・食品ディスカウントチェーンの「アクション」に着目して、投資しています。「アクション」は、日本でいえばドン・キホーテといった感じでしょうか。オランダを中心にヨーロッパの広い地域で2,500店舗以上を展開していて、既に高いシェアを持っていますが、さらに2万店舗まで拡大すると見込んでいます。

「アクション」が店舗拡大中で、成長が見込めると思っても、未上場なので直接投資はできません。やはり運用のプロが、しっかり「アクション」の株主を確認して、3iグループを見つけてきたというのは、普通の個人投資家の目線では、なかなか出来ないことだと思います。

「みんかぶ」の当記事を詳しくご覧になりたい方はこちらから

世界のベストの世界株式を上回るパフォーマンス

ポートフォリオの構築は、特定のファクター（要因）に偏らないようリスク管理しているとのことでしたが、2022年以降、投資環境が比較的短期間で、バリュー投資優位、グロース投資優位と入れ替わりました。その間の運用状況はどうでしたか？

出所：ブルームバーグ、インベスコ
世界のベストは＜為替ヘッジなし＞（年1回決算型）の基準価額（課税前分配金再投資、信託報酬控除後）を使用しています。世界のベストの実績を表すにあたり、分配金のお支払いや為替ヘッジがない同ファンドを代表的なファンドとしてお示ししています。世界株式はMSCIワールド・インデックス（税引き後配当込み、円ベース）を使用し、ファンドの基準日の前日の数値を用いています。同インデックスはグラフ期間中の市場環境を示す目的でご参考として掲載しています。上記は過去のデータであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。

上のチャートは、世界のベスト＜為替ヘッジなし＞（年１回決算型）の2021年12月末の基準価額を100として代表的な世界株式のインデックスの動きを比較したものです。

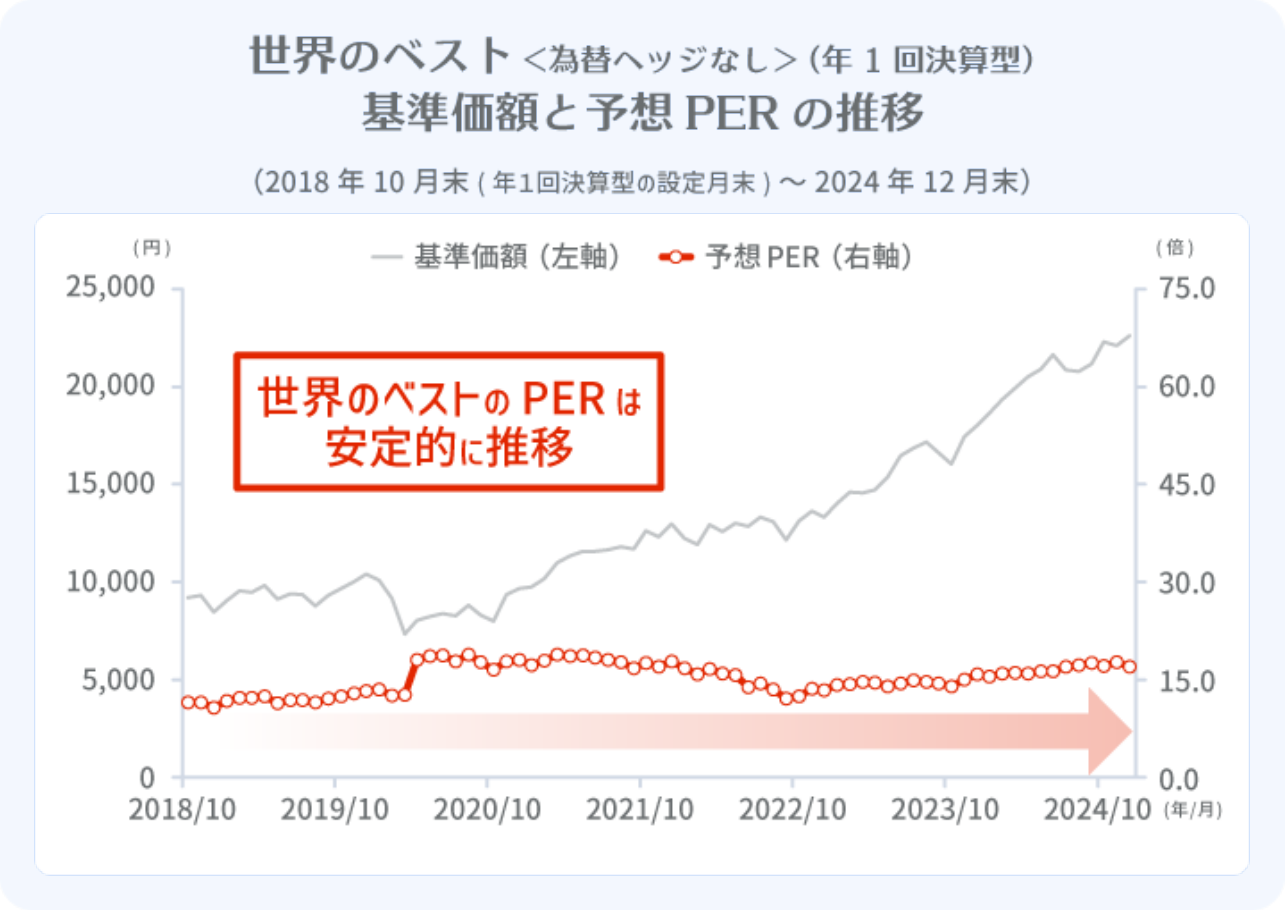
2021年から2022年後半までは、ほぼ同様の動きになっています。その後、世界的にインフレ懸念の台頭から世界各国が金融引き締めに動き、コロナ・ショック後のマーケットをけん引してきたグロース銘柄が下落する一方で、バリュー投資が優位となりました。その時期は、世界株式が横ばいの展開となるなか**「世界のベスト」は、比較的堅調に推移し、パフォーマンスに差**がでていることが確認できます。

また、2023年以降は再度、グロース投資が優勢となりましたが、**「世界のベスト」は、世界株式に追従**するかたちで上昇しています。

「みんかぶ」の当記事を詳しくご覧になりたい方はこちらから

特定のファクター(要因)に偏らないポートフォリオの効果は、運用状況を見ても明らかですね。米国をはじめ、世界の株式市場は史上最高値圏にあります。このような環境だと、どうしても市場全体が過熱、つまり割高になっているのではないかと心配する投資家も多いと思いますが・・・

「世界のベスト」のポートフォリオの予想PERは下の図にあるとおり、基準価額が上昇しても、ほぼ横ばいで推移しています。これは、コントラリアン・アプローチで、**株価が上昇し割高になったら売却し、割安な銘柄に入れ替えている結果**だと言えるかと思います。



出所：ブルームバーグ、インベスコ
グラフ期間：2018年10月末（年1回決算型の設定月末）～2024年12月末。予想PERは12カ月先の予想1株当たり利益に基づく値を使用。世界のベストの基準価額は「課税前分配金再投資、信託報酬控除後」を使用しています。上記は過去のデータであり、将来の成果を保証するものではありません。

市場全体が過熱しているかどうかは、何とも言えませんが、少なくとも「世界のベスト」の基準価額が上昇しているからと言って、**ポートフォリオが割高な水準にあるわけではない**ことがお分かりいただけるかと思います。

これから投資を始めようと考えている人も、既に他のファンドで投資をしている人も安心して投資できそうですね。ありがとうございました。

まとめ

「世界のベスト」のポートフォリオは、業種や国・地域の配分だけでなく、組入上位銘柄も市場平均である世界株式（MSCIワールド・インデックス）のインデックスとは、大きく異なることから、既に米国株式ファンドやグローバル株式インデックスファンドを保有している方の次の一手として、検討できるのではと感じました。

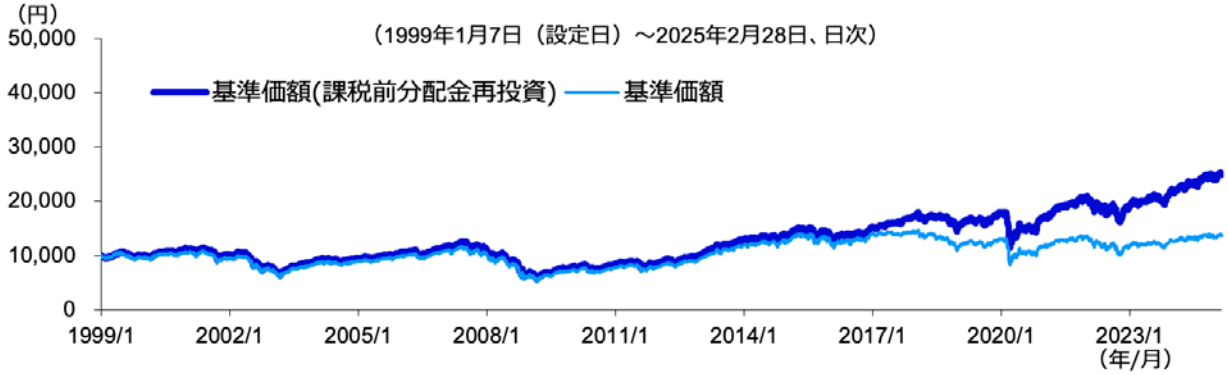
「株式投資の王道」により、特定のファクター（要因）に偏らず、割高にならないように管理されているポートフォリオの「世界のベスト」は、長期の資産形成の期間中、安心して保有し続けられるファンドと言えるのではないでしょうか。

「みんかぶ」の当記事を詳しくご覧になりたい方はこちらから

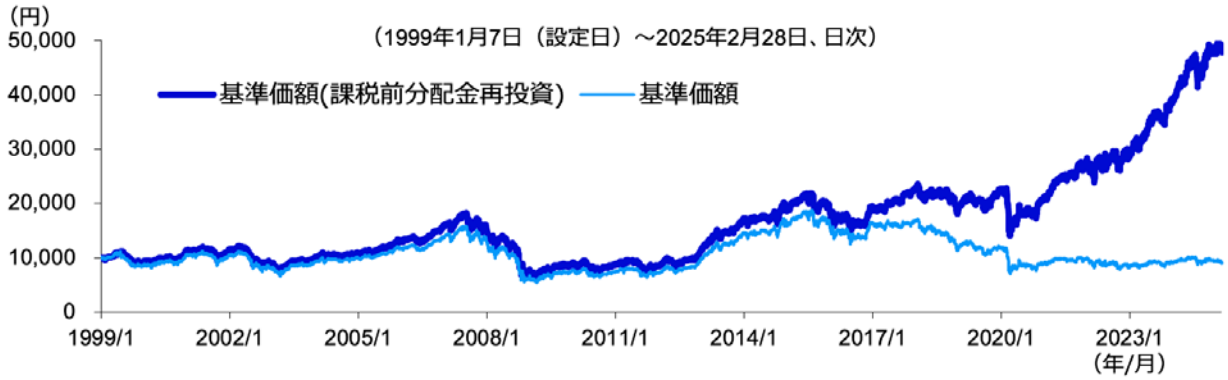
設定来の基準価額の推移①

毎月決算型

為替ヘッジあり

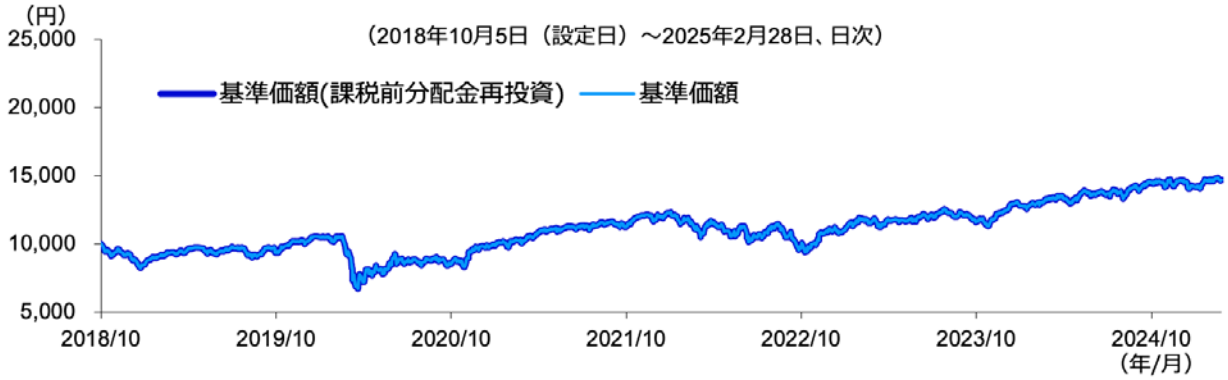


為替ヘッジなし

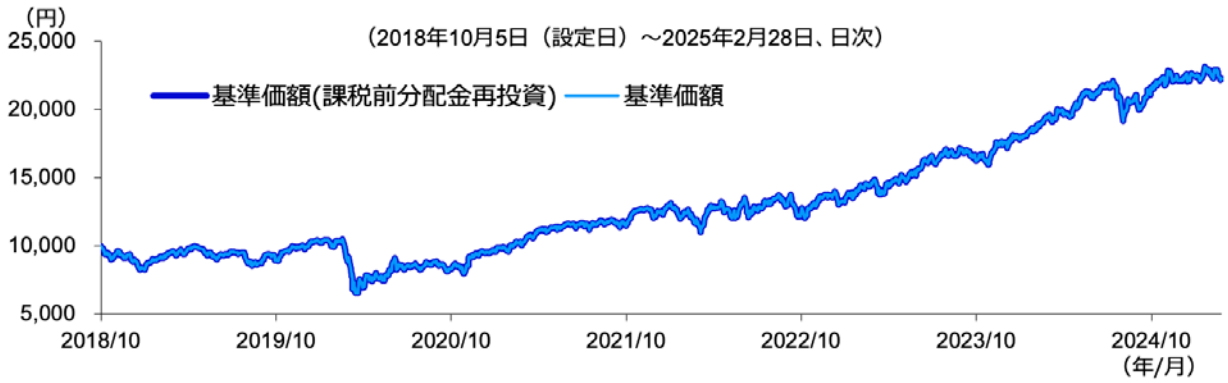


年1回決算型

為替ヘッジあり



為替ヘッジなし

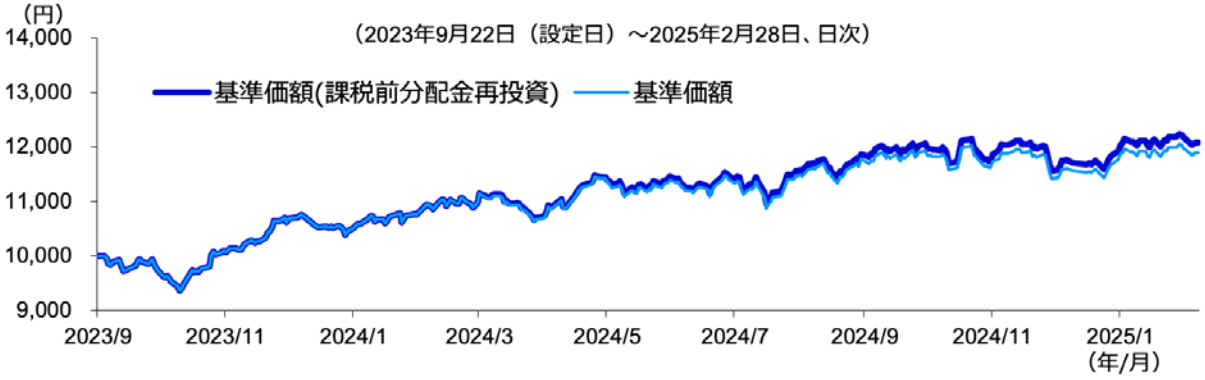


出所：インベスコ
基準価額は、信託報酬控除後のものです。上記は過去のデータであり、将来の運用成果を保証するものではありません。

設定来の基準価額の推移②

奇数月決算型

為替ヘッジあり



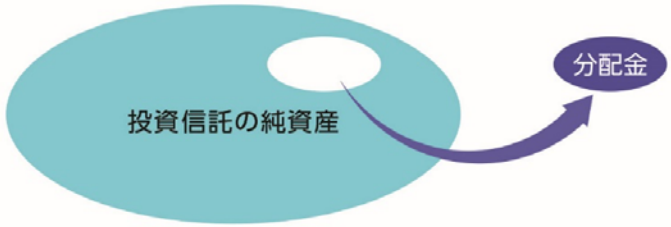
為替ヘッジなし

出所：インベスコ
基準価額は、信託報酬控除後のものです。上記は過去のデータであり、将来の運用成果を保証するものではありません。

収益分配金に関する留意事項

■ 分配金は、預貯金の利息とは異なり、投資信託の純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。

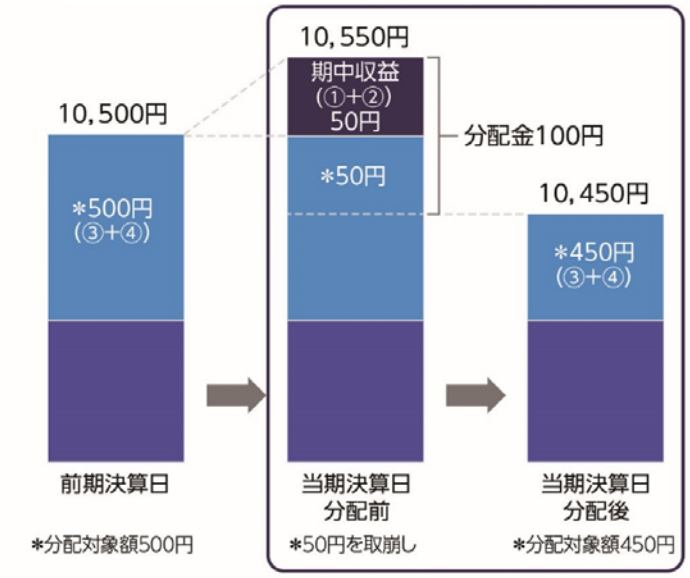
投資信託で分配金が支払われるイメージ



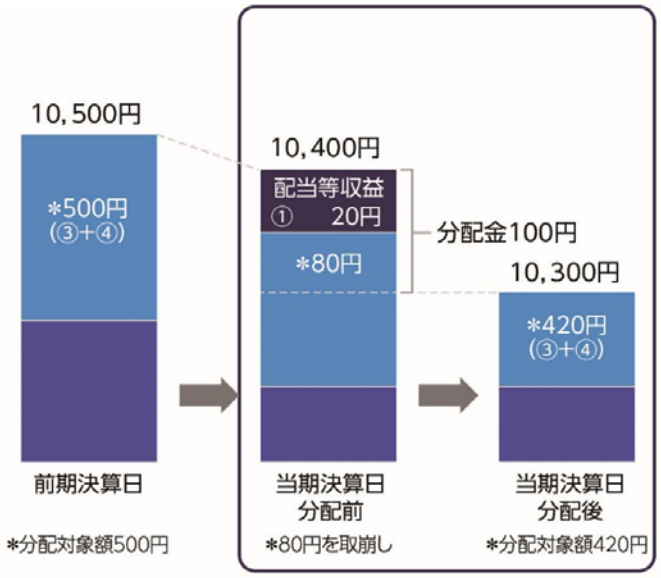
■ 分配金は、計算期間中に発生した収益（経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益）を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。

計算期間中に発生した収益を超えて支払われる場合

■前期決算日から基準価額が上昇した場合



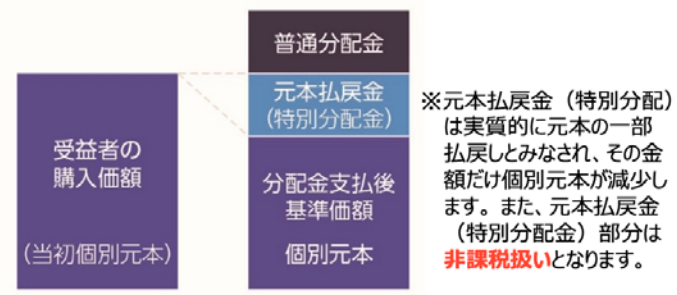
■前期決算日から基準価額が下落した場合



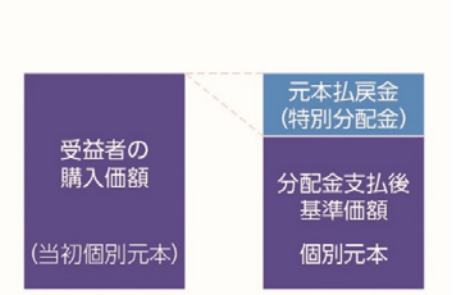
（注）分配対象額は、①経費控除後の配当等収益および②経費控除後の評価益を含む売買益ならびに③分配準備積立金および④収益調整金です。
分配金は、分配方針に基づき、分配対象額から支払われます。
※上記はイメージ図であり、実際の分配金額や基準価額を示唆するものではありませんのでご留意下さい。

■ 受益者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部ないし全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。

■分配金の一部が元本の一部払戻しに相当する場合



■分配金の全部が元本の一部払戻しに相当する場合



普通分配金：個別元本（受益者のファンドの購入価額）を上回る部分からの分配金です。
元本払戻金（特別分配金）：個別元本を下回る部分からの分配金です。分配後の受益者の個別元本は、元本払戻金（特別分配金）の額だけ減少します。

（注）普通分配金に対する課税については、投資信託説明書（交付目論見書）「手続・手数料等」の「ファンドの費用・税金」をご参照下さい。

お申し込みの際は、必ず「投資信託説明書（交付目論見書）」をご覧ください。

ファンドの投資リスク

ファンドは預貯金とは異なり、投資元本は保証されているものではないため、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。ファンドの運用による損益はすべて受益者に帰属します。

基準価額の変動要因

ファンドは実質的に国内外の株式など値動きのある有価証券等に投資しますので、以下のような要因により基準価額が変動し、損失を被ることがあります。

価格変動リスク	〈株式〉株価の下落は、基準価額の下落要因です。 株価は、政治・経済情勢、発行企業の業績や財務状況、市場の需給などを反映し、下落することがあります。
信用リスク	発行体や取引先の債務不履行等の発生は、基準価額の下落要因です。 ファンドが投資する有価証券の発行体が債務不履行や倒産に陥った場合、または懸念される場合、当該有価証券の価格が大きく下落したり、投資資金を回収できなくなることがあります。また、投資する金融商品の取引先に債務不履行等が発生した場合に、損失が生じることがあります。
カントリー・リスク	投資対象国・地域の政治・経済等の不安定化は、基準価額の下落要因です。 投資対象国・地域において、政治・経済情勢の急激な変化や新たな取引規制が導入される場合などには、ファンドが投資する有価証券等の価格が下落したり、新たな投資や投資資金の回収ができなくなる可能性があります。
為替変動リスク	〈為替ヘッジあり〉為替の変動（円高）が基準価額に与える影響は限定的です。 為替ヘッジ（原則としてフルヘッジ）を行い為替変動リスクの低減に努めますが、為替変動の影響を完全に排除できるとは限りません。また、円金利が為替ヘッジを行う通貨の金利より低い場合、当該通貨と円の金利差相当分のヘッジコストがかかります。 〈為替ヘッジなし〉為替の変動（円高）は、基準価額の下落要因です。 為替ヘッジを行わないため為替変動の影響を受けることになり、円高方向に変動した場合には外貨建資産の円での資産価値が下落します。

※基準価額の変動要因は、上記に限定されるものではありません。

その他の留意点

ファンド固有の留意点

- ベンチマークは、今後、他の指数へ変更されることがあります。

投資信託に関する留意点

- ファンドの購入に関しては、クーリングオフ（金融商品取引法第37条の6の規定）制度の適用はありません。
- ファンドにおいて短期間に相当金額の換金資金の手当てを行う場合や市場環境の急激な変化等が生じた場合は、当初期待された価格や数量で有価証券等を売却できないことや取引に時間を要することがあるため、基準価額に影響を及ぼす可能性があります。また、これらの要因等により有価証券等の売却・換金が困難となった場合や、資金の受け渡しに関する障害が発生した場合は、ファンドの換金のお申し込みの受付中止（既にお申し込みを受け付けた場合を含みます。）や換金資金のお支払いの遅延となる可能性があります。
- マザーファンド受益証券に投資する他のベビーファンドの追加設定・解約等に伴う資金変動などが生じ、マザーファンドにおいて組入有価証券等の売買が行われた場合などには、組入有価証券等の価格の変化や売買手数料などの負担がマザーファンドの基準価額に影響を及ぼすことがあります。

設定・運用は

商号等　：インベスコ・アセット・マネジメント株式会社
　　金融商品取引業者　関東財務局長（金商）第306号
加入協会：一般社団法人投資信託協会
　　一般社団法人日本投資顧問業協会

<ファンドに関する照会先>

ファンドの基準価額、販売会社等の情報についてはインベスコ・アセット・マネジメント株式会社にお問い合わせください。
お問い合わせダイヤル 03-6447-3100
【受付時間は営業日の午前9時から午後5時までです】
ホームページ https://www.invesco.com/jp/ja/

お申し込みの際は、必ず「投資信託説明書（交付目論見書）」をご覧ください。

お申し込みメモ

購入単位	お申し込みの販売会社にお問い合わせください。 ＊分配金の受け取り方法により、「自動けいぞく投資コース」と「一般コース」の2コースがあります。
購入価額	購入の申込受付日の翌営業日の基準価額
購入代金	販売会社が定める期日までにお支払いください。
換金単位	お申し込みの販売会社にお問い合わせください。
換金価額	換金の申込受付日の翌営業日の基準価額から、信託財産留保額を控除した価額
換金代金	原則として換金の申込受付日から起算して5営業日目からお支払いします。
申込締切時間	原則として毎営業日の午後3時30分まで※（販売会社所定の事務手続きが完了したもの） ※ 販売会社によっては、より早い時間に申込締切時間を設けている場合がありますので、詳しくは、販売会社にお問い合わせください。
換金制限	投資信託財産の資金管理を円滑に行うため、大口の換金申込には一定の制限を設ける場合があります。
購入・換金申込受付の中止および取り消し	取引所などにおける取引の停止、その他やむを得ない事情があるときは、購入・換金のお申し込みの受け付けを中止すること、および既に受け付けた購入・換金のお申し込みの受け付けを取り消すことがあります。
信託期間	■毎月決算型：無期限（設定日：1999年1月7日） ■年1回決算型：無期限（設定日：2018年10月5日） ■奇数月決算型：無期限（設定日：2023年9月22日）
決算日	■毎月決算型：毎月23日（ただし、同日が休業日の場合は翌営業日） ■年1回決算型：毎年12月23日（ただし、同日が休業日の場合は翌営業日） ■奇数月決算型：毎年1、3、5、7、9、11月の各23日（ただし、同日が休業日の場合は翌営業日）
収益分配	■毎月決算型：毎月の決算日に分配方針に基づいて収益の分配を行います。 ■年1回決算型：年1回の決算日に分配方針に基づいて収益の分配を行います。 ■奇数月決算型：年6回の決算日に分配方針に基づいて収益の分配を行います。 ＊自動けいぞく投資コースでお申し込みの場合は、分配金は税引後無手数料で再投資されます。
課税関係	課税上は株式投資信託として取り扱われます。公募株式投資信託は税法上、一定の要件を満たした場合に少額投資非課税制度「NISA（ニーサ）」の適用対象となります。毎月決算型は、NISAの対象ではありません。年1回決算型と奇数月決算型は、NISAの「成長投資枠（特定非課税管理勘定）」の対象ですが、販売会社により取り扱いが異なる場合があります。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。配当控除は適用されません。

ファンドの費用

投資者が直接的に負担する費用

購入時手数料	購入の申込受付日の翌営業日の基準価額に、販売会社が定める**3.30%（税抜3.00%）以内**の率を乗じて得た額。
信託財産留保額	換金の申込受付日の翌営業日の基準価額に**0.30%**の率を乗じて得た額

投資者が信託財産で間接的に負担する費用

運用管理費用（信託報酬）	日々の投資信託財産の純資産総額に**年率1.903%（税抜1.73%）**を乗じて得た額とします。運用管理費用（信託報酬）は日々計上され、ファンドの基準価額に反映されます。なお、以下の支払時期に投資信託財産中から支払われます。 ■毎月決算型：毎計算期末または信託終了時。 ■年1回決算型：毎計算期間の最初の6カ月終了日および毎計算期末または信託終了時。 ■奇数月決算型：毎計算期末または信託終了時。
その他の費用・手数料	・組入有価証券の売買委託手数料、資産を外国で保管する場合の費用などは、実費を投資信託財産中から支払うものとします。これらの費用は運用状況などによって変動するため、事前に具体的な料率、金額、計算方法および支払時期を記載できません。 ・監査費用、目論見書・運用報告書の印刷費用などは、投資信託財産の純資産総額に対して**年率0.11%（税抜0.10%）を上限**として、信託財産中から以下の支払時期に支払うものとします。 ■毎月決算型：毎計算期末または信託終了時。 ■年1回決算型：毎計算期間の最初の6カ月終了日および毎計算期末または信託終了時。 ■奇数月決算型：毎計算期末または信託終了時。

※上記、ファンドの費用の合計額については、保有期間などに応じて異なりますので、表示することができません。

お申し込みの際は、必ず「投資信託説明書（交付目論見書）」をご覧ください。

Invesco

インベスコ 世界厳選株式オープン【愛称：世界のベスト】

販売会社（投資信託説明書（目論見書）のご請求・お申し込み先）

■受益権の募集・販売の取り扱い、投資信託説明書（目論見書）の交付、運用報告書の交付代行、分配金・換金代金・償還金の支払いおよび分配金の再投資※に関する事務などを行います。 ※ 分配金を受け取るコースのみを取り扱う販売会社は当該業務を行いません。

■下記には募集・販売の取り扱いを行っていない販売会社が含まれていることがあります。また、下記以外の販売会社が募集・販売の取り扱いを行っている場合があります。

2025年3月7日現在

金融商品取引業者等の名称		登録番号	日本証券業協会	一般社団法人日本投資顧問業協会	一般社団法人金融先物取引業協会	一般社団法人第二種金融商品取引業協会	毎月決算型取り扱い販売会社	年1回決算型取り扱い販売会社	奇数月決算型取り扱い販売会社
アイザワ証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第3283号	○	○		○	○	○	○
株式会社あおぞら銀行※4	登録金融機関	関東財務局長(登金)第8号	○		○		○	○	○
あかつき証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第67号	○	○	○		○	○	○
阿波証券株式会社	金融商品取引業者	四国財務局長(金商)第1号	○				○		
株式会社イオン銀行(委託金融商品取引業者 マネックス証券株式会社)	登録金融機関	関東財務局長(登金)第633号	○				○	○	○
池田泉州TT証券株式会社	金融商品取引業者	近畿財務局長(金商)第370号	○					○	
岩井コスモ証券株式会社	金融商品取引業者	近畿財務局長(金商)第15号	○	○	○		○	○	○
ＳＭＢＣ日興証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第2251号	○	○	○	○	○	○	
株式会社SBI証券	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第44号	○		○	○	○	○	○
株式会社SBI新生銀行(委託金融商品取引業者 株式会社SBI証券、マネックス証券株式会社)	登録金融機関	関東財務局長(登金)第10号	○		○		○	○	○
株式会社大垣共立銀行※3	登録金融機関	東海財務局長(登金)第3号	○		○		○	○	
OKB証券株式会社※3	金融商品取引業者	東海財務局長(金商)第191号	○				○	○	
岡三にいがた証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第169号	○				○	○	○
香川証券株式会社	金融商品取引業者	四国財務局長(金商)第3号	○				○	○	○
京銀証券株式会社※3	金融商品取引業者	近畿財務局長(金商)第392号	○				○	○	
株式会社京都銀行※3	登録金融機関	近畿財務局長(登金)第10号	○		○		○	○	
株式会社京都銀行※3(委託金融商品取引業者 京銀証券株式会社)	登録金融機関	近畿財務局長(登金)第10号	○		○		○	○	
極東証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第65号	○			○	○	○	○
きらぼしライフデザイン証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第3198号	○				○	○	
ぐんぎん証券株式会社※3	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第2938号	○				○	○	
篠山証券株式会社	金融商品取引業者	近畿財務局長(金商)第16号	○				○	○	○
株式会社三十三銀行	登録金融機関	東海財務局長(登金)第16号	○				○	○	
静岡東海証券株式会社	金融商品取引業者	東海財務局長(金商)第8号	○				○	○	
静銀ティーエム証券株式会社	金融商品取引業者	東海財務局長(金商)第10号	○				○	○	
Jトラストグローバル証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第35号	○	○			○	○	○
株式会社十六銀行※4	登録金融機関	東海財務局長(登金)第7号	○		○		○	○	○
株式会社常陽銀行※3(委託金融商品取引業者 めぶき証券株式会社)	登録金融機関	関東財務局長(登金)第45号	○		○		○	○	
スルガ銀行株式会社※3	登録金融機関	東海財務局長(登金)第8号	○				○	○	
損保ジャパンＤＣ証券株式会社(確定拠出年金のみの取り扱い)	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第106号	○				○		
大熊本証券株式会社	金融商品取引業者	九州財務局長(金商)第1号	○				○	○	
株式会社第四北越銀行	登録金融機関	関東財務局長(登金)第47号	○		○			○	
株式会社大東銀行※5	登録金融機関	東北財務局長(登金)第17号	○					○	

※1 新規の募集・販売の取り扱いを停止しています。※2 ＜為替ヘッジなし＞（毎月決算型）のみ取り扱いを行います。※3 ＜為替ヘッジなし＞（毎月決算型）および＜為替ヘッジなし＞（年1回決算型）のみ取り扱いを行います。 ※4 ＜為替ヘッジなし＞（毎月決算型）、＜為替ヘッジなし＞（年1回決算型）および＜為替ヘッジなし＞（奇数月決算型）のみ取り扱いを行います。※5 ＜為替ヘッジなし＞（年1回決算型）のみ取り扱いを行います。

Invesco

インベスコ 世界厳選株式オープン【愛称：世界のベスト】

販売会社（投資信託説明書（目論見書）のご請求・お申し込み先）

■受益権の募集・販売の取り扱い、投資信託説明書（目論見書）の交付、運用報告書の交付代行、分配金・換金代金・償還金の支払いおよび分配金の再投資※に関する事務などを行います。 ※ 分配金を受け取るコースのみを取り扱う販売会社は当該業務を行いません。

■下記には募集・販売の取り扱いを行っていない販売会社が含まれていることがあります。また、下記以外の販売会社が募集・販売の取り扱いを行っている場合があります。

2025年3月7日現在

金融商品取引業者等の名称		登録番号	日本証券業協会	一般社団法人日本投資顧問業協会	一般社団法人金融先物取引業協会	一般社団法人第二種金融商品取引業協会	毎月決算型取り扱い販売会社	年1回決算型取り扱い販売会社	奇数月決算型取り扱い販売会社
大和証券株式会社※3	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第108号	○	○	○	○	○	○	
大和コネクト証券株式会社※3	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第3186号	○				○	○	
株式会社但馬銀行※2	登録金融機関	近畿財務局長(登金)第14号	○				○		
中銀証券株式会社	金融商品取引業者	中国財務局長(金商)第6号	○				○	○	
株式会社中国銀行	登録金融機関	中国財務局長(登金)第2号	○		○		○	○	
東海東京証券株式会社	金融商品取引業者	東海財務局長(金商)第140号	○	○	○	○	○		
とうほう証券株式会社	金融商品取引業者	東北財務局長(金商)第36号	○				○		
東洋証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第121号	○			○	○	○	
とちぎんTT証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第32号	○				○	○	
株式会社鳥取銀行	登録金融機関	中国財務局長(登金)第3号	○				○	○	
株式会社富山銀行※4	登録金融機関	北陸財務局長(登金)第1号	○				○	○	○
内藤証券株式会社	金融商品取引業者	近畿財務局長(金商)第24号	○			○	○	○	○
株式会社名古屋銀行※3	登録金融機関	東海財務局長(登金)第19号	○				○	○	
西日本シティTT証券株式会社	金融商品取引業者	福岡財務支局長(金商)第75号	○				○	○	
日産証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第131号	○		○	○	○	○	
日本生命保険相互会社(確定拠出年金のみの取り扱い)	登録金融機関	近畿財務局長(登金)第36号	○				○		
ニュース証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第138号	○	○			○	○	
野村證券株式会社※1	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第142号	○	○	○	○	○		
百五証券株式会社	金融商品取引業者	東海財務局長(金商)第134号	○				○	○	
ひろぎん証券株式会社	金融商品取引業者	中国財務局長(金商)第20号	○				○	○	○
PayPay銀行株式会社	登録金融機関	関東財務局長(登金)第624号	○		○		○	○	
PayPay証券株式会社※3	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第2883号	○				○	○	
株式会社北陸銀行※3	登録金融機関	北陸財務局長(登金)第3号	○		○		○	○	
松井証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第164号	○		○		○	○	○
マネックス証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第165号	○	○	○	○	○	○	○
丸八証券株式会社	金融商品取引業者	東海財務局長(金商)第20号	○				○	○	
株式会社みずほ銀行※1	登録金融機関	関東財務局長(登金)第6号	○		○	○	○		
三津井証券株式会社	金融商品取引業者	北陸財務局長(金商)第14号	○				○	○	○
株式会社三井住友銀行	登録金融機関	関東財務局長(登金)第54号	○		○	○	○	○	
三菱UFJ eスマート証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第61号	○	○	○	○	○	○	○
株式会社三菱ＵＦＪ銀行	登録金融機関	関東財務局長(登金)第5号	○		○	○	○	○	○
株式会社三菱ＵＦＪ銀行（委託金融商品取引業者三菱ＵＦＪモルガン・スタンレー証券株式会社）	登録金融機関	関東財務局長(登金)第5号	○		○	○	○	○	○
三菱ＵＦＪ信託銀行株式会社	登録金融機関	関東財務局長(登金)第33号	○	○	○		○	○	
三菱ＵＦＪモルガン・スタンレー証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第2336号	○	○	○	○	○	○	○

※1 新規の募集・販売の取り扱いを停止しています。※2 ＜為替ヘッジなし＞（毎月決算型）のみ取り扱いを行います。※3 ＜為替ヘッジなし＞（毎月決算型）および＜為替ヘッジなし＞（年1回決算型）のみ取り扱いを行います。 ※4 ＜為替ヘッジなし＞（毎月決算型）、＜為替ヘッジなし＞（年1回決算型）および＜為替ヘッジなし＞（奇数月決算型）のみ取り扱いを行います。※5 ＜為替ヘッジなし＞（年1回決算型）のみ取り扱いを行います。

インベスコ 世界厳選株式オープン【愛称：世界のベスト】

販売会社（投資信託説明書（目論見書）のご請求・お申し込み先）

■受益権の募集・販売の取り扱い、投資信託説明書（目論見書）の交付、運用報告書の交付代行、分配金・換金代金・償還金の支払いおよび分配金の再投資※に関する事務などを行います。 ※ 分配金を受け取るコースのみを取り扱う販売会社は当該業務を行いません。

■下記には募集・販売の取り扱いを行っていない販売会社が含まれていることがあります。また、下記以外の販売会社が募集・販売の取り扱いを行っている場合があります。

2025年3月7日現在

金融商品取引業者等の名称		登録番号	日本証券業協会	一般社団法人日本投資顧問業協会	一般社団法人金融先物取引業協会	一般社団法人第二種金融商品取引業協会	毎月決算型取り扱い販売会社	年1回決算型取り扱い販売会社	奇数月決算型取り扱い販売会社
moomoo証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第3335号	○	○			○	○	○
めぶき証券株式会社※3	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第1771号	○				○	○	
株式会社横浜銀行	登録金融機関	関東財務局長(登金)第36号	○		○		○	○	
楽天証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第195号	○	○	○	○	○	○	○
ワイエム証券株式会社	金融商品取引業者	中国財務局長(金商)第8号	○				○	○	

※1 新規の募集・販売の取り扱いを停止しています。※2 ＜為替ヘッジなし＞（毎月決算型）のみ取り扱いを行います。※3 ＜為替ヘッジなし＞（毎月決算型）および＜為替ヘッジなし＞（年1回決算型）のみ取り扱いを行います。 ※4 ＜為替ヘッジなし＞（毎月決算型）、＜為替ヘッジなし＞（年1回決算型）および＜為替ヘッジなし＞（奇数月決算型）のみ取り扱いを行います。※5 ＜為替ヘッジなし＞（年1回決算型）のみ取り扱いを行います。

販売会社によっては一部のファンドのみの取り扱いとなる場合があります。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。
当資料では、「インベスコ 世界厳選株式オープン＜為替ヘッジあり＞（毎月決算型）/＜為替ヘッジなし＞（毎月決算型）」、「インベスコ 世界厳選株式オープン＜為替ヘッジあり＞（年1回決算型）/＜為替ヘッジなし＞（年1回決算型）」および「インベスコ 世界厳選株式オープン＜為替ヘッジあり＞（奇数月決算型）/＜為替ヘッジなし＞（奇数月決算型）」を総称して「世界のベスト」もしくは「当ファンド」という場合があります。また、決算頻度に応じて「毎月決算型」、「年1回決算型」、「奇数月決算型」、為替ヘッジの有無に応じて「為替ヘッジあり」、「為替ヘッジなし」の呼称を使う場合があります。
当ファンドはインベスコが運用を行います。インベスコは、インベスコ・リミテッド並びにインベスコ・リミテッド子会社および関連会社からなる企業グループで、グローバルな運用力を提供している独立系資産運用会社です。

【当資料のお取り扱いにおけるご注意】
当資料はインベスコ・アセット・マネジメント株式会社が作成した販売用資料です。当資料は信頼できる情報に基づいて作成されたものですが、その情報の確実性あるいは完結性を表明するものではありません。また、過去の運用実績は、将来の運用成果を保証するものではありません。当資料で詳述した分析は、一定の仮定に基づくものであり、その結果の確実性を表明するものではありません。分析の際の仮定は変更されることもあり、それに伴い当初の分析の結果と差異が生じる場合があります。当資料の中で記載されている内容、数値、図表、意見などは特に記載がない限り当資料作成時点のものであり、今後予告なく変更されることがあります。ファンドの購入のお申し込みの場合には、投資信託説明書（交付目論見書）を販売会社よりあらかじめまたは同時にお渡ししますので、必ず内容をご確認の上、ご自身でご判断ください。投資信託は預金や保険契約と異なり、預金保険機構または保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、登録金融機関は投資者保護基金には加入しておりません。ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定（いわゆるクーリングオフ）の適用はありません。ファンドは、実質的に国内外の値動きのある有価証券など（外貨建資産には、為替変動リスクもあります。）に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、元本が保証されているものではありません。これらの運用による損益はすべて受益者の皆様に帰属します。